

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承	施策No	09-03	部課名	教育委員会事務局社会教育課		
				課長名	北村 内線 3350		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]					
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]					
目的	<p>区内に伝わる有形・無形の文化財を保存し、地域において伝統文化を継承していく基盤整備とともに、郷土の歴史、地域について学ぶ機会を提供することにより、荒川区の教育、文化の発展に寄与する。</p>						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	指標に関する説明
	荒川ふるさと文化館利用者数	19,053	23,702	18,709	24,000	26,000	展示室観覧者 + 郷土学習室利用者
	荒川ふるさと文化館企画展示室稼働率	48.0%	40.0%	38.0%	50.0%	70%	企画展示室開館日数 / 文化館開館日数
	伝統技術展入場者数	13,500	14,000	15,000	16,000	17,000	
	文化財登録件数(総数)	4 (250)	4 (254)	3 (257)	4 (261)	3 (264)	毎年登録する文化財(総数)
現状と課題 (指標分析)	<p>荒川ふるさと文化館は、荒川区の歴史や文化について、児童・生徒を始め、多くの区民に正しく伝え、郷土に対する誇りと愛着を持ち、荒川区の歴史や文化について理解を深めるため、企画展示等の事業について検討する必要がある。</p> <p>江戸時代から受け継がれてきた区内の伝統工芸技術について、保存継承し、広く区民に紹介していくことが重要であるが、後継者が不在の職人もおり、その対策を行う必要がある。</p> <p>区の歴史や文化を伝える文化財、史跡が数多くあり、これを保護し次代に伝えていく必要があるが、建造物や近代遺跡については実態把握が十分できていない。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>大規模博物館にはない地域の郷土資料館ならではの特性を生かした企画展を開催し、区の魅力を発信する。</p> <p>○子どもたちが伝統工芸技術に触れる機会を多く設け、伝統工芸に興味をもつ動機付けを行う。</p> <p>文化財保護推進員に区内史跡・文化財調査を依頼し情報の提供とともに、荒川史談会等関係団体から情報提供を受けることにより、実態を把握する。</p> <p>伝統工芸技術継承者の育成支援及び保存継承の基盤整備をサポートするための支援策について検討する。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡、伝統的工芸技術を保存・継承していくことは重要であるため、引き続き推進する。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
荒川ふるさと文化館管理運営費	11-04-27	47,001	51,892	継続	継続	郷土の歴史や文化に親しむ施設を運営するため、必要である。
荒川ふるさと文化館事業推進費	11-04-28	5,795	5,616	継続	継続	郷土の歴史や文化に親しむ講座や展示等を提供する事業として、必要である。
奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会	11-04-29	0	476	継続	継続	俳句という伝統文化を通じて言語活動の充実を図るとともに、奥の細道旅立ちの地を区内外に発信する。
文化財保護奨励費	11-04-30	7,378	11,767	推進	推進	区の文化財を後世に伝えるため、必要性は高い。
文化財交流事業	11-04-31	0	0	継続	継続	交流都市の文化財等を紹介し、文化交流を深める。
江戸伝統技術	11-04-32	32,170	31,185	推進	推進	区の伝統工芸技術について理解を深めるため、必要性が高い。
合 計		92,344	100,936			